

ふれあい通信 いずみ

平成23年6月20日発行

12号

発行
社会福祉法人 いずみ会
秋田市泉菅野二丁目17番11号
TEL.018-896-5880

「1,000人の避難者がいる小学校へ」

特別養護老人ホーム
リンデンバウムいずみ

山田 康則



3月28日から31日までの4日間、秋田県スタッフの介護ボランティアとして、被災地である宮城県石巻市鹿妻小学校に行ってきました。隣県の大被災に何か手伝うことができたのでは、という思いから派遣要請に応じて参加してきました。鹿妻小学校には、1,000人の避難者がおり、援助が必要な方は5人でした。一階は床上浸水にみまわれ、砂ぼこりが残り、教室は悪臭がし、衛生的にも悪い状態でした。被災者が自ら地震や避難した時の恐怖を語り、改めて地震の凄さを思い出しました。快くボランティアに参加させてくれた施設長はじめ、職場のみなさんに心から感謝申し上げます。

「東日本大震災ボランティア派遣」 職員の活動報告

「安否確認にあたって」

泉地域包括支援センター
リンデンバウム

保泉 拓



私は4月12日から14日までの3日間、岩手県庁に設置された「岩手県災害総合窓口」において、来庁者及び電話相談への相談対応支援のため活動してきました。窓口の設置された「県民室」で、岩手県職員とペアになり対応しました。来庁者・電話相談共に安否確認のご相談が最も多くありました。探している人が見つからず、肩を落として帰られる方も多く、こちらも非常に胸が痛みました。3日間の活動ではありましたが、継続的な支援の必要性を感じつつ秋田へ戻りました。

ウェルビューいずみ障害福祉サービスセンター
佐々木宏幸施設長が、平成23年5月31日～6月3日まで日本社会福祉士会より派遣され岩手県大槌町にてボランティア活動を行いました。

やすこ
ケアプランセンターの佐藤恭子さんが
平成23年6月11日から1週間、宮城県石巻市
鹿妻小学校にてボランティア活動を行いました。



「いずみのかかりつけ医」を
めざして早5年
すずきクリニック
院長 鈴木 裕之

時の経つのは早いもので、「いずみのかかりつけ医」を目標に私が泉地区に開業して5年が過ぎるところです。患者さんがひっきりなしに来院して困っています。クリニックが潰れずに今日まで来られたのは、まさに泉地区の皆さんのおかげと感謝しております。

ところで、「笑い」が健康にいいというお話を皆さんも聞いたことがあるかと思いますが、実はすでに医学的なデータもかなり公表されており、私は開業以来、積極的に「笑い」を医療に取り込んできました。実際にやってみると「笑い」は医学的な効果以上に患者さんとのコミュニケーションにとっても役立つことがわかりました。一つの笑いで患者さんの緊張が解け、お話がスムーズに運ぶのです。「かかりつけ医」に求められるものは病気に関する知識として、病気を治す技量は当然として、患者さんと話をする技術がその前に必要だと私は考えています。

皆さんもすずきクリニックに来る時は一笑いするつもりで来て下さい。病気が治る、……かも知れません。

犬とのふれあい



特別養護老人ホーム リンデンバウムいづみ

動物が好きな利用者を中心に、衛生面等へも配慮をしながら『犬とのふれあい』を取り入れています。共通の話題で会話が盛り上がり、楽しみにしているレクリエーション活動の一つです。

犬を飼っていたことがある利用者も多く、「懐かしい感触だ。」「撫でてあげると気持ちいいんだよね。」「慣れた手つきで触れあっていきます。気持ちも和むように、表情も自然にほころび、「癒されるね。」という声も聞かれます。また、犬を抱えたり触れようとすることで、腕や体全体を自然に動かし、思いがけずリハビリテーションにも繋がっています。

今後も、充実した日常生活を過ごしていただけるよう、様々な活動を取り入れ、利用者の皆さんと一緒に楽しみを共有していきたいと考えています。



いやさね
ますね。

その人らしい生活支援をめざして

ケアハウス スプリングヒル



特定施設 入居者生活 介護事業により、介護保険の認定を受けている入居者に対して、施設内

で介護サービスの提供ができるようになり、入居者一人ひとりの生活スタイルに合わせた支援ができるようになりました。

天気の良い日は、健康状態を考慮しながら屋外散歩で自然と触れ合ったり、趣味を生かした「生きがいづくり」の活動で楽しみながら機能低下の予防を行ったりしています。また、看護師が配属されたことで、気軽に健康相談ができ安心して生活できると喜ばれています。

今後も、快適な生活を送っていただけるよう職員一同努力していきます。



利用者にとって一番近い存在

リンデンバウムいづみヘルパーステーション

昨年より、職員個々の研修計画の策定や実施、月一回の定例会議での利用者にかかわる情報と留意事項の伝達、全体で行うテーマに基づいた集合研修などに加え、今年度は、外部研修にも積極的に参加し、ホームヘルパーとしての研鑽に励んでいます。訪問介護は、利用者の変化を真っ先に発見できる立場にあります。悪化の予測をする、利用

者の可能性を引き出すなど、在宅において、利用者にとって一番近い存在です。

個々の利用者を尊重した質の高いサービスができるよう努めるとともに、ご家族・各関連機関との積極的な連携を深め、利用者によって選ばれる事業所づくりを目指しています。



海の生きものって おもしろい

発見！
体験！

ウェルビーイングいづみ

男鹿水族館G.A.O.のわくわく出前保育を体験しました。ヤドカリ・ヒトデ・ウニなどの生きものにさわったり、カメ子（ケズメリクガメ）に餌をあげたり、指湯水槽の魚とふれあいました。ガラス越しに見学するのではなく、直接ふれたり手のひらにのせてじっくりと観察することで、感触・色・動き・形・匂いなどを五感を通して気付くことができました。最初は恐る恐る

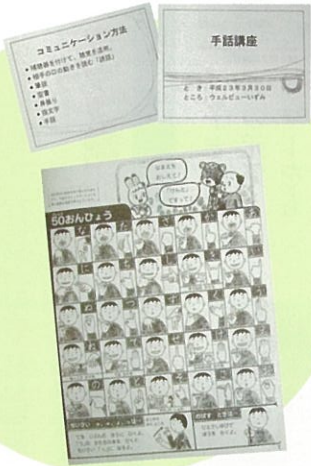
さわっていた子ども、友だちや保育者に見守られている中で、怖がらずさわれるようになりました。本物にふれる事が4歳、5歳の保育には欠かす事のできない貴重な体験となります。今後も本物にふれる機会を保育の中で積極的に取り込んでいきたいと思います。



ケズメリクガメの
カメ子よ！

カメさん
お名前は何？

3月30日、秋田県立聾学校の先生を講師として招き、『基礎から学ぶ手話講座』を開催しました。当センター職員、事務員と障害者就業・生活支援センターの職員と合わせ20名が受講しました。講義内容は、自分の名前を



基礎から学ぶ手話講座

ウェルビュいずみ
障害福祉サービスセンター（多機能型）

表現し合ったり、お互いに誕生日を手話で尋ね合ったり、日付の若い順に並ぶゲームをしたりしました。秋田県立聾学校の卒業生1名が、4月より当センターの就労移行支援事業を利用するのがきっかけで講座を開催しましたが、挨拶程度の簡単な手話を習得できたお陰で、新利用者とスムーズにコミュニケーションが図れるようになりました。



菅原郁博、大坂谷浩美

リンデンバウムいずみ デイサービスセンター
デイサービスで介護員として勤務しております。利用者の方々が楽しく、安心して過ごせるように、親切・丁寧なサービス提供を心掛けています。2月より、デイサービスの送迎員として勤務しております。利用者の方が安心して乗車出来ますように、安全運転に努めていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

リンデンバウムいずみ 事務室
4月からリンデンバウムいずみの事務室に勤務しています。事務室は当施設を利用される方や、そのご家族が最初に接する場所であり、来て下さる方々と真摯に向き合う事を心掛けております。



石動 隼子

10月から勤務しています。まだまだ不慣れな点もありますが笑顔で忘れず頑張りますので宜しくお願いします。

泉地域包括支援センター リンデンバウム



長谷川千鶴子、亀井由美子、柴田るみこ

先輩の指導で勉強の毎日です。一生懸命がんばりますので宜しくお願いします。



いきいきスタッフ紹介

特別養護老人ホームリンデンバウムいずみ



勝浦美香子、嵯峨貴子、岡村直樹

今年の春よりリンデンバウムいずみ3階で勤務しています。新卒者からベテランとそれぞれ違った経歴の私達ですが、日々協力して頑張っています。



社会福祉法人
いずみ会
「理念」

1

私たちは利用者や家族の気持ちを尊重し、ニーズに応えられる施設をめざします

2

私たちは豊かな知識を身につけ、質の高いサービスを提供できる施設をめざします

3

私たちは地域とともに力を合わせ、地域福祉に貢献できる施設をめざします

いきいきスタッフ紹介

ウエルビューいづみ ともも園



(上左から)
伊藤 素子
佐藤 なごみ
藤原 律子
工藤 由美子

(下左から)
幸坂 美咲
幸坂 喜美子
米澤 有美

子どもたちの元気とパワーをもらいながら日々勉強しています。笑顔で頑張ります。



ウエルビューいづみ
障害福祉サービスセンター（多機能型）



徳原 貞子

昨年の11月から勤務しております。不慣れな点も多いと思いますが、宜しくお願いします。

明和会院内 ともも園



木村 望、菅原美砂江

子ども達も毎日楽しく過ごせるよう努めていきます。

いづみ竿燈会 募集

いづみ竿燈会では、大若・小若の差し手の募集をしています。小若は小学校3年生から中学生までです。大若も年齢問わず、未経験者でも竿燈をやりたい方であれば大歓迎です。はんでん・帯は準備しています。

●練習は月・水・金の午後6時～7時30分迄です。囃子はウエルビューいづみの交流プラザで、差し手はリンデンバウムいづみの駐車場で練習しています。是非見学においでください。

●受付場所
ウエルビューいづみ事務室
☎018-896-6277



平成22年 出陣式にて

退任・新任のごあいさつ



退任にあたり

中通リハビリテーション病院
事務長

保坂 征勇

9年前に「ウエルビューいづみ開設準備室」に勤務しました。社会福祉法人いづみ会では、あらゆる人が「生きがいを持ち」「共に過ごす」というコンセプトの基、開設準備が進められていました。この間、ウエルビューいづみの開設、障害福祉制度の変化への対応、障害者就業・生活支援センターの開設、保育園の増築、地域の皆様との交流など、様々な経験をさせていただきました。

施設では「利用者本位」「自己研鑽」「地域福祉貢献」という法人の理念の基に業務に取り組んでまいりました。福祉施設での勤務経験のなかった私にとって、地域の皆様や施設を利用されて

いるご家族の方々、関係機関の皆様のご指導一つひとつが貴重な財産となりました。今後とも、新事務長をはじめ、いづみ会各施設の運営にご支援いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。退任にあたりお礼の言葉といたします。



新任にあたり

福祉複合施設
ウエルビューいづみ 事務長

山平 優 すぐる

平成23年6月1日付で、福祉複合施設ウエルビューいづみの事務長に就任いたしました。開設から当施設の運営に携わり法人の発展に尽力された保坂前事務長の後任として大きな責任を感じております。三つの理念を大切に、ご利用者の期待に応え、地域の人たちと一緒に福祉事業を更に展開していただけるように努力していきますので、よろしく願いいたします。

ウエルビューいづみ 交流プラザ



祝
表彰

ウエルビューいづみ交流プラザは、平成23年 食品衛生優良施設として秋田食品衛生協会から表彰されました。

編集後記

平成23年3月11日、日本の観測史上最大となるマグニチュード9の大地震が東日本一帯を襲いました。津波による被害が大きかった太平洋側ではいまでも数多くの方たちが避難所での生活を余儀なくされておりま。実際に被災地でボランティアとして活動してきた方々から現地の凄惨な様子を聞き、福祉の面での支援継続の必要性を感じるともに、自分自身も常に防災意識を持つことの大切さを再認識させられました。最後になりますが、被災された皆様へ心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

リンデンバウムいづみ 副主任
佐々木 誠